

ドローンの有効活用を目指して

ドローンを活用した社会基盤構築に向けた協定を締結



右から東京大学大学院鈴木教授、中村市長、ANA総研岡田社長

12月18日、市役所で市と東京大学大学院、ANA総合研究所がドローンを活用した社会基盤構築に向けた協定を締結しました。防災や水産業、観光などでの有効活用を目指す市、有人機とドローンの共存に向けた調査研究を行う同大学院、安全な運航体制づくりを目指すANAがそれぞれの長所を活かして有効活用していこうというもの。同19日には、久玉町でヘリコプターとドローンの衝突回避のための日本初の飛行実験も行われました。

新鮮な魚介類がいっぱい

天草漁協崎津支所が朝市を開催



▲新鮮な魚介類を手にする来場者

12月28日、天草漁協崎津支所の荷さばき所で朝市が開かれました。地元でとれる魚介類を多くの人に知ってもらい、消費拡大や地域の活性化につなげようと同支所が毎年5月の連休と年末に開催しているもので今年で15回目。タイやヒラアジ、ヒメジ、緋扇貝など崎津近海のとれたて魚介類が販売されました。集まった来場者は、「新鮮な魚介類が安く買えてうれしい」と話していました。

もち餅がいっぱいできたよ

世代間交流事業餅つき



▲花餅をつくる子どもたち

12月17日、五和町の城河原地区コミュニティセンターで世代間交流を目的とした餅つきが行われました。城河原地域づくり振興会が開催したもので、地元の高齢者や親子約50人が参加。紅白の餅を杵と石臼でつき餅を丸めたり、五穀豊穡を願い笹の枝に餅を丸めてつける「花餅」を作り、年末の恒例行事を楽しんでいました。つきたての餅を食べた男の子は、「やわらかくておいしい」と口いっぱいほおぼっていました。

高校受験も「へのっかっぱ」

へのっかっぱストラップを贈呈



▲受験なんて「へのっかっぱ」がんばるぞ!

栖本まちづくり協議会は1月10日、地元のかっぱ伝説にちなんだ「へのっかっぱストラップ」を制作して、栖本中学校3年生21人に贈りました。これからむかえる高校受験を「へのっかっぱの精神」で乗り越えてもらおうと、お守りとして毎年贈っているもの。ストラップを受け取った3年生の猪原駿太さんは、「これからどんなことがあっても一生懸命がんばりたい」と話していました。

観客もランナーも“えびす顔”

倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会



▲雨の中力走するランナー

1月8日、倉岳町宮田の倉岳大えびす像公園一帯で「倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会」が開催されました。祭りでは倉岳中学校のえびす太鼓、苓明・天草拓心高校郷土芸能部の天草ハイヤ踊りなどの披露や福引き餅投げが実施され、多くの人でにぎわいました。マラソン大会では、3・5・10kmのコースに県内外から1,170人が参加。大えびす像に見守られながら、新春の倉岳路を力走していました。

わあ〜いっぱい実ったね

ミカン(不知火)の木オーナー制度収穫祭



▲収穫を楽しむ参加者

1月8日、有明町大浦地区で「第10回ミカン(不知火)の木オーナー制度の収穫祭」が開催され、全国から43組172人のオーナーが参加しました。同制度は1本13,000円(今年度はうち1,000円を熊本震災復興支援のために寄附)で木の持ち主になり、実ったミカンをすべてもらえるもの。参加者は鈴なりに実ったミカンの収穫を体験していました。園主の高齢化などにより、10回目となる今年が最後の開催となりました。

日ごろの訓練の成果を披露

消防出初式



▲御所浦方面隊女性消防部の通常点検の様子

新春恒例の「消防出初式」が1月15日、本渡運動公園陸上競技場で開かれ、市消防団員など約1,100人が参加しました。同式では、分列行進や整列隊形、規律などを競う通常点検、高さ18mのかごの中にあるボールを放水でいかに早く落とすかを競う放水競技が行われ、団員たちは日ごろの訓練の成果を披露していました。通常点検の部では五和方面隊が、放水競技の部は河浦方面隊が優勝しました。

幻想的な聖なる夜を体感!

大江冬まつり



▲サンタからお菓子のプレゼント

12月24日、天草町の大江教会一帯をイルミネーションで飾る「大江冬まつり」が開催されました。キリシタン文化をPRするため同まつり実行委員会が毎年開催しているもの。市内外から訪れた約500人は、幻想的な灯りのなか、ミサへの参列や教会周辺の散策などを楽しんでいました。同教会下の天草ロザリオ館駐車場ではガネ揚げ販売や、サンタクロースから子どもたちにお菓子のプレゼントもあり、来場者を喜ばせていました。